

令和5年度 第2学年 音楽 評価規準

江戸川区立大杉第二小学校

2年 p. 2～3

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜導入＞ 「朝の リズム」 (随時扱い)	知識	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	＜知-①＞ 「朝のリズム」の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。	＜技-①＞ 互いの歌声や伴奏を聴きながら、「朝のリズム」を声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 「朝のリズム」の旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「朝のリズム」の歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 手びょうしりレーであそぼう (毎時扱い)	知識	手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	＜知-①＞ 手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	＜技-①＞ 設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	＜思-①＞ 強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
強さや はやさを かんじて (6時間扱い・4～5月)	知識	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			○
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	主体的に学習に取り組む態度	強弱や速度の変化や違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	強弱や速度の変化や違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
リズムや ドレミと なかよし (8時間扱い・6～7月)	知識	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付く。	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			○
	技能	互いの声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	互いの声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○	
	思考・判断・表現	リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。			○	

	主体的に学習に取り組む態度	リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		
--	---------------	--	---	---	---	--	--

○＝本評価規準例における中心的な項目

2年 p.24～25

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音の スケッチ＞ 音の かさなりや リズムを えらんで 合わせよう (3時間・7月)	知識	音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付く。	＜知-①＞ 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
＜めざせ 楽き名人＞ 「かっこう」 「ドレミの トンネル」 (毎時・9月～)	知識	楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付く。	＜知-①＞ 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	技能	「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	＜技-①＞ 「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 「かっこう」の旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
きよくに 合った 歌い方 (4時間扱い・9月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	主体的に学習に取り組む態度	曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音の スケッチ＞ どんな 音が きこえるかな (2 時間・9～10 月)	知識	身の回りのさまざまな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	＜知-①＞ 身の回りのさまざまな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	思考・判断・表現	音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。	＜思-①＞ 音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
いい 音 見つけて (4 時間扱い・10～11 月)	知識	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	技能	音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。	楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりしている。		○		○
	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「タやけ こやけ」 (共通教材) (2 時間扱い・11 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	＜知-①＞ 「タやけこやけ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 「タやけこやけ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「タやけこやけ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<めざせ 楽き名人> 「こぎつね」 (毎時扱い)	知識	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	＜知-①＞ 「こぎつね」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。		○		
	技能	手の移動などの奏法や、階名で模唱したりリズムを聴いて演奏したりする技能を身に付ける	＜技-①＞ 手の移動などの奏法や、階名で模唱したりリズムを聴いて演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 「こぎつね」の旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「こぎつね」の曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
おまつりの 音楽 (3 時間扱い・12 月)	知識	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の 楽しさを見いだして聴く。	太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよ さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り組む。	太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音の スケッチ＞ おまつりの 音楽を つくろう (3 時間・12 月)	知識	太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	＜知-①＞ 太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることで音楽づくりの発想を得たり、 どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。	＜思-①＞ 自分や友達がつくったリズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることで音楽づくりの発想を得たり、 どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌 唱	器 楽	音 楽	鑑 賞
きょくの ながれ (2 時間扱い・1 月)	知識	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取ったり、音楽が表している情景を想像したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取ったり、音楽が表している情景を想像したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌 唱	器 楽	音 楽	鑑 賞
くりかえしと 重なり (3 時間扱い・1～2 月)	知識	曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付く。	曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見だして聴いたりする。	楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見だして聴いたりしている。	○	○		○
	主体的に学習に取り組む態度	反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
みんなで 合わせて (4 時間扱い・2～3 月)	知識	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○	
	思考・判断・表現	拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○	○		○
	主体的に学習に取り組む態度	友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈くにっぽんのうた みんなのうた〉 「春が きた」 (共通教材) (1 時間扱い・3 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	〈知-①〉 「春がきた」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	〈技-①〉 「春がきた」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	〈思-①〉 「春がきた」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「春がきた」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音の スケッチ〉 みんなの 音楽時計を つくろう (4 時間扱い・3 月)	知識	音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	〈知-①〉 時計を表わす音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 音型の反復や重なりなど、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。			○	
	思考・判断・表現	拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	〈思-①〉 拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして「ウィーンの音楽時計」を聴いたりする。			○	○
	主体的に学習に取り組む態度	音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
クリスマスソングを 歌おう (1 時間扱い・随時)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	〈知-①〉 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。				○
	技能	互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	〈思-①〉 歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

